



偉大なる大地、
澄み渡る空、
心に吹き抜ける風、
そしてかけがえのない仲間

何を学び、どこへ向かうべきか、
それはハワイが教えてくれた

Hawaii Summer School

2018年7月23日(月) ▶ 8月5日(日)

大阪YMCA

学校法人 大阪YMCA

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6 E-mail:variety-school@osakaymca.org



ここでしか味わえない SST を・・・ ハワイだからこそできる SST を・・・



ハワイサマースクール、それは自分らしい未来を歩むために社会性の学びと経験を積み重ねる 2 週間の旅。2016 年から大阪 YMCA とバラエティスクールが協働で始めた中高生を対象としたソーシャルスキルを学ぶ集中プログラム。

親元を離れ、ハワイの大自然の力をかりて、自分とは何かを見つめ、困った場面ではどう解決すべきかを仲間とともに悩みながら繰り返し考えていく。

すぐにわからないことがあっても、時間をかけて様々な人から学べるチャンスがある、そして必ずわかる日がくる。それがハワイサマースクールである。



大阪 YMCA とバラエティスクールだからこそできる **TA-SST (Team- Act/ Assist/ Approach SST)**。それは参加者の特性やベース、状況に合わせて接する指導者を自在に変えて、考えや学びを参加者から最大限に引き出す指導法。この TA-SST に加え、それぞれの指導者の専門性をプログラムの中に取り入れることで、ハワイでのかけがえない学びと濃厚な 2 週間はでき上がる。

Julie

豊かな国際経験とコミュニケーション能力で指導者同士の架け橋となり、ヨガの指導に加え、細かな気配り、わかりやすい説明で参加者の気持ちに寄り添う

Billy

ハワイのアクティビティのコーディネーターはもちろん、ユーモア溢れる英会話など、楽しさの中で学びを深めるとともに、参加者のモチベーションを高める

Kato

人、場所、雰囲気、ありとあらゆる場面を巧みに活用してソーシャルスキルやライフスキルのねらいを考え、時に厳しく、時に面白く指導を行い、参加者の成長を導く

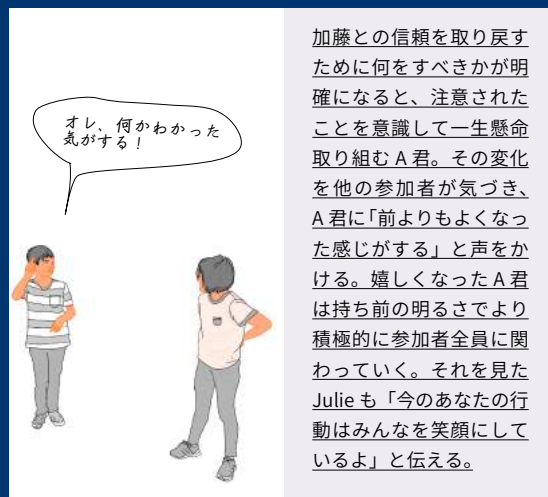
TA-SST チームアプローチ！

TA-SST 例

1 週間が過ぎ、目の前のやるべき内容よりもその場の楽しさや自分の考えを優先した行動が目立つようになる A 君。そのため、個別に呼び出し、「何のためにサマースクールに参加したのか」と加藤から問いかける。しかし、ことばに込められた意味がすぐには理解できず、どのように行動すればよいかわからない様子の A 君。



その後、Julie が時間をあけて「いつもと様子が違うけれど、何かあったの？」と、加藤とのやり取りを知らない設定で A 君に近寄り、加藤との話をどこまで理解できているか確認する。そして、加藤の話の意図を噛み砕いて説明し、「あなたに期待しているからそうに言うのだと思う」などと、加藤の行動のフォローと今後どのように行動すべきかの道筋を立てて伝える。



加藤との信頼を取り戻すために何をすべきかが明確になると、注意されたことを意識して一生懸命取り組む A 君。その変化を他の参加者が気づき、A 君に「前よりもよくなった感じがする」と声をかける。嬉しくなった A 君は持ち前の明るさでより積極的に参加者全員に関わっていく。それを見た Julie も「今のあなたの行動はみんなを笑顔にしているよ」と伝える。

加藤、Julie と A 君のこれまでのやりとりを全て把握している Billy。プログラム中、A 君が意識して行動している様子を目にして、「何かあったの？ 1 週間前の姿と比べて今の A 君はすごくカッコいい！」と驚きながら言う。憧れの存在である Billy に褒められて、さらにモチベーションが上がっていく。



7/23 月

日本出発 ✈️
ホノルル到着
オリエンテーション



7/24 火

ヨガ / SST / 英会話
ショッピング①
セーフウェイ



7/25 水

ヨガ / SST / 英会話
ハイキング①
マノアの滝



7/26 木

ヨガ / SST / 英会話
YMCA
キャンプアードマン



7/27 金

ヨガ / SST / 英会話
ビーチ
ペロース



7/28 土

Billy 先生による
ドライブツアー



7/29 日

プール・観光
ワイキキ周辺



7/30 月

ハイキング②
クリオウオウ
ビーチハウス



7/31 火

ヨガ / SST / 英会話
プール・ビーチ
ビーチハウス



8/1 水

ヨガ / SST / 英会話
乗馬
クアロア・ランチ



8/2 木

ヨガ / SST / 英会話
ショッピング②
パール・リッジ



8/3 金

ヨガ / SST / 英会話
フェアウェル
パーティ



8/4 土

ホテル出発
ホノルル出発



8/5 日

日本到着 ✈️



5月 meeting



6. Billy's job

スケジュール案をもとに、Billy がアクティビティの場所を下見する。ビーチでのライフガードの有無、ハイキングではコースの難易度、休憩場所や危険な箇所の確認、ショッピングではローカルで英会話が実践できる場所はどこか、参加者にとって楽しく体験でき、学びが深まる場所を念入りに調べていく。これはハワイの大自然に詳しく、交友関係の広い Billy にしかできない仕事である。

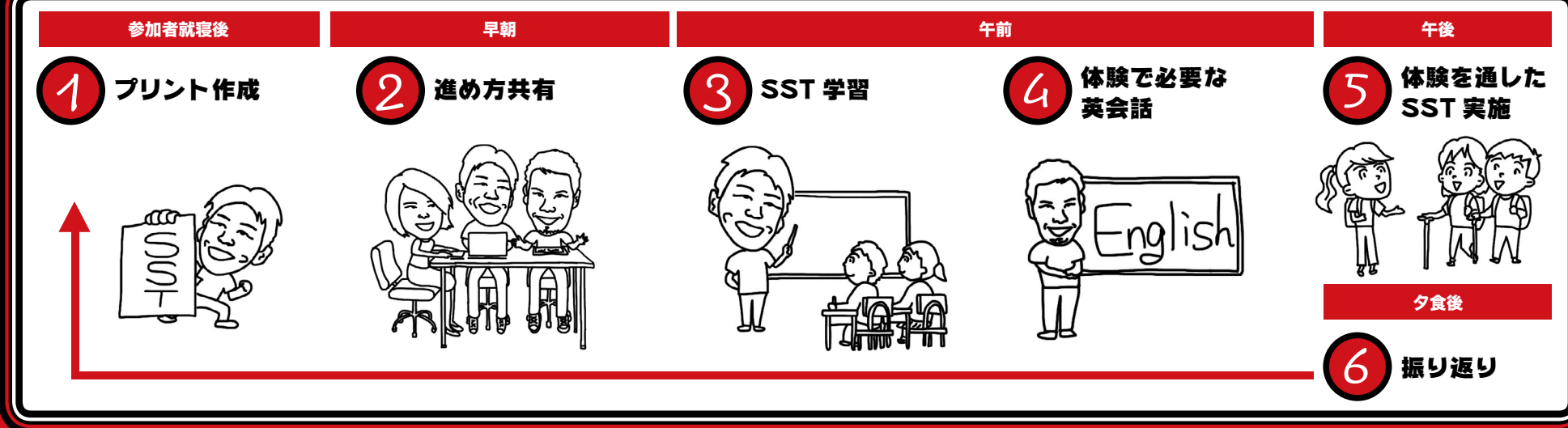


7. Kato's job



サマースクール前に3回の事前ミーティングを通して、指導者全員が直接参加者と関わり、様子を把握する。そして2週間のSSTの大きなイメージ作っていく。今回は「自信」「限界を超える」「持続力」「演じる」などのキーワードが出る。続いてそのイメージに沿った学びができる活動場所の候補をあげていき、2週間の具体的なプログラム内容、食事メニューなど、すべてのスケジュール案を作成する。

参加者の「今」と、そして「未来」に有益となるようなSSTを作り出すのがKatoの技。2週間のプログラムで刻々と変化していく参加者の様子を的確に読み取り、ハワイのアクティビティをうまく活用したSSTを常に頭をフル回転させて考えていく。「どのような学びが今、必要なのか」「どのような環境で、誰からのアプローチが対象者に一番響きやすいか」「学びをより深く刻み込むために複数の指導者がどう関わっていくべきか」「参加者にどこまでの負荷が適切なのか」を大切にSSTを作り上げていく。すぐにアイデアが浮かばない時も、決して妥協することなく、「アイデアが舞い降りてくるまで考えて待つ」を口癖に、時に深夜までハワイの夜空を眺めながら1人考え続ける。こうしてKatoこだわりのオリジナル教材ができ上がり、参加者の意欲や笑いを誘うSSTに活用される。



2weeks



様々な人の力、そして思いが込められて作られるハワイサマースクールのSST。しかし、SSTにおいて教材は参加者の学びとを考えを引き出すツールの一つに過ぎない。SSTで大切なのは参加者が考える力を身につけることである。指導者や仲間とのやり取りを通じて様々な角度から物事を考え、自分に合った解決法を見つけ出すことである。ソーシャルスキルは人が人に知識や自らの経験を直に伝えていくからこそ質の高い学びを生み出す。そのため、複数の指導者が携わるハワイサマースクールのSSTでは指導者の関わり方やことばがけ、いわゆる阿吽の呼吸のチームワークが非常に重要となる。こうした中で生まれたのが「TA-SST」である。思春期という多感な時期、自分を見つめることは日常の家や学校生活では難しい。だからこそ指導者は2週間を有意義に使いながら「学び、体験、振り返り、作成、打ち合わせ」を何度も何度も繰り返し行ない、参加者にアプローチしていく。参加者はハワイで繰り広げられるアクティビティを体験しながら、「自分とはどういう存在か」「どのような強さと弱さがあるのか」「ここで何を学ぶべきなのか」、時間をかけて考えていく。時に心が疲れてしまう時、ハワイの偉大なる大自然がその心を癒してくれる。こうして指導者や仲間、ハワイという環境が確実に参加者を成長の道へと一歩ずつ歩ませてくれるのである。

Julie's job



Julieが一番得意とするのはKatoの思いを形にすること。時に深夜まで考えぬいて悶くSST。そこからがJulieの出番である。細かな絵のオーダーに沿ってSSTの教材に必要なイラストを描いていく。完成したイラストが差し戻されることもよくあることだが、教材に対するKatoのこだわりをよく理解しているため、めげずに描き直す。また、参加者の日々の様子を細かく記録していくことや、毎朝、スクールバスの中でその記録を片手に英語でBillyに参加者の様子やKatoの方針などを伝える。このような大阪YMCAとバラエティスクールのパイプ役はタフでコミュニケーション能力に長けたJulieにしかこなせない仕事である。

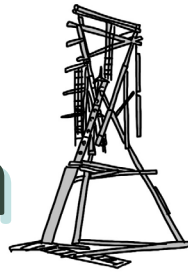
Rika's job



急な翻訳にも快く、そして迅速に対応するだけでなく、参加者の英語の困り感に寄り添い、その場に適した表現やそれに関連した知識を教えてくれる。また、参加者の様子を見ながら毎日の朝食をアレンジすることや、ホテル滞在中の日用品の準備、さらに長期間の指導者3人の体力がピークになってくる中盤、エナジードリンクやスナックの差し入れなど、常に全員の健康を意識している。日本とハワイというグローバルなプログラムでRikaの存在は大きい。



YMCA Camp Erdman



自分の限界を 超える

ねらい：

自己理解 判断力 状況理解 勇気と自信

自分の限界を決めるのは親でも先生でもなく、自分自身。しかし、挑戦する前から見た時の印象で自分から限界を決めて諦めてしまうことは多い。キャンプアードマンのジャイアントスイングとアルパインタワーもその一つ。見るからに恐怖心をそそるアクティビティ。しかし人を信じる力と勇気があれば必ず克服できる。信頼できる人から激励をもらい、いざ自分の限界の一步先へ。見たことのない世界がキミを待っている。

自分の限界を超えるには…

名前 _____

*今日はCamp Erdmanでのアクティビティを通じて、「自分の限界」について考えてみましょう。

1. あなたの限界はだれが決めるのでしょうか？

() 自分 () 親 () 隣人

() 先生 () 古い師 () 先生

2. どうしたら自分の可能性や限界を知ることができるのでしょうか？

() 周囲の人のアドバイスを聞く () 失敗や成功の原因を振り返る

() 挑戦などを定期的に受ける () チャレンジする気持ちを持ち続ける

() 他の人がしている内容や方法をよく見る

3. 「自分の限界を知っておくとよい行動ができる」という場面を書きましょう。

4. 今日は自分の限界の1歩先までチャレンジします。どうしたら、自分の限界を少しでも超えることができるのでしょうか？

5. アクティビティをする時、一歩踏み出す勇気をもらいたいメンバーは誰ですか？

だれ？ _____

SST!

誰からの声かけがあると頑張れそう？

LUNCH!

CAMP
ERDMAN
到着!

GAGA BALLで準備体操。
中高生にも真剣勝負！
スタッフが一斉に楽し
むことも大切

TEDDY'S BURGERS
シェフはかわり
なし

加藤勝利!

GIANT SWINGに挑戦!

ALPEN
TOWER
に挑戦!

一番難しいルートに
挑戦した二人、
感想を共有。

景上からの
景色は最高!

完璧だった!
の一年目

ファイト!



PEARLRIDGE CENTER

お金の価値 あなたにとってお金とは?

ねらい：

自己理解 金銭知識 社会マナー 家族への感謝

いつも何気なくもらっているお小遣い、学校に通うための学費、そしてハワイサマースクールへの参加、すべてが当たり前のことではなく、家族のおかげであることを忘れてはならない。今回はハワイのローカルなレストランで食事をする。もちろん英語のメニューを読み、自分でオーダーする。しかし最も大切なのはBilly先生がご馳走してくれるということだ。こんな時はお礼の気持ちを表せばよいだろう…。

あなたにとって「お金」とは…

名前 _____

*生きていくために必要なものの1つに「お金」があります。今日はその大切さを学びましょう。

1. お金とはどのようなものですか？

・お金とは _____

2. お金はどのようにして手に入れることができますか？ その方法を書きましょう。

3. 会社に勤め始めて4ヶ月が過ぎた渡邊さん。上司が賞状に誘ってくれました。

今日はほかの誘ったから、まかせて!

①こんな時、渡邊さんはどうしますか？ 社会人らしくいいセリフを書きましょう。

②もし親が賞状に連れて行ってきて、お金を払ってくれたら同じことをしますか？

() はい、いつもしています () したことはありません。

理由 _____

③みなさんは親からお金をもらうことをどう思いますか？

() 子どものためにお金を出すのは親の義務だから、当然のことである

() 法律で親は子どもが受ける教育にお金を出さなければならないから、仕方ない

() その他 _____

SSTでの学び

グループでの話し合い

英会話レッスンオーダーの仕方



レストランでオーダー (お金の大切さを感じながら)

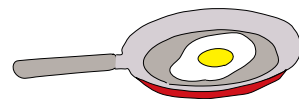


「えーん…僕がお金払ったのに」と泣くビリー先生。誰も「ご馳走さます。美味しかった。」って言うってくれなかった。SSTの時間に「わたしは感謝の気持ちをしっかり伝えられる!」って言っていたのに…

LST
クッキング



昼食と夕食の自炊



ねらい：
自主性
知識
調理遂行力
対応力

ハワイサマースクールの昼食と夕食は基本的に自炊。食材購入から始まり、調理、片付けまでが一連の流れ。役割は決めず、自主性（ボランティア）を尊重する。アクティビティで疲れている時ほど真価が問われる。



LST
ルームチェック



ライフスキル



ねらい：
健康管理
時間管理
清潔性
整理整頓

ライフスキル、それは生きていくために必要な力。2週間の共同生活でどこまで意識することができたか、就寝前に指導者が各部屋に赴き、1日の行動や部屋の様子からまず自己評価を行ない、続いて指導者が評価する。



KULIOUOU TRAIL



とてもハードだったけど、景色はとても綺麗だった！！



Beautiful !!

映画のロケ地を乗馬でツアー♪

KUALOA RANCH





この2週間ハワイで生活して、自ら進んで行動できるようになりました。今までは他人に任せることが多かったですが、このプログラムで「自分もメンバーの一員として尽力をつくらなければならない」がわかりました。

加藤先生やジュリー先生が怒ったり褒めたりしてくれて良かったです。ハワイに来てとても楽しかった。1年後もまた参加したいです。

先生から教わったのは、「自分の苦手なことを知ることが大切だ」ということです。忘れ物が多いことや人の話を聞かないところなど、自分の弱さを知れて良かったです。先生たち、本当に感謝しています。ありがとうございます。

たくさん挑戦し、いろいろなことができるようになりました（苦手なことも）。僕は人と協力することと自分の役割を認識することが苦手でした。いや、そもそも気にしていませんでしたが、何度も挑戦してできるようになったと思います。

キャンプアードマンやビーチハウスなど、ここでしかできない経験をたくさんしました。しかし、メモしていなかったし、話を聞いていないという課題がまだ残っているの、これから、これらを頑張りもっと社会性を身につけていきたいです。

家族へ（参加者からの手紙）

この度は、ハワイサマースクールへのお金を払ってくださりありがとうございました。そのおかげで精神面のことを除いては一人暮らしも無理ではないと思うことができました。その理由としては2つあります。1つ目は、整理整頓ができたことです。今までは小さい整理整頓ができないという事実から、私もあなたも、「私は整理整頓ができない」と思い込んでいました。しかし、1人になってみると案外できるものでした。それに数日は大変だなと感じたものの、すぐに負担なく整理整頓することができました。2つ目は、お風呂、歯磨きなどの最低限しなければならないことを後回しにせずできたことです。今まではそれらを面倒くさいと後回しにし、やりたいことでさ手をつける時間をなくしていましたが、今回の SST で割り切った考え方を学び、メリハリをつけて生活することができるようになりました。それと共に、その日の体調によって差はあるものの、気持ちの切り替えも少しできるようになったのではと思います。今はまだ頼りないですが、いつか私がもっとたくましくなった時、あなたをハワイに連れて行きたいです。なのでそれまで生きていてください。

この2週間は、1日は長いけれど2週間はあっという間という不思議な感覚でした。ただ、1日で考えないといけなことはいつもの2倍くらいあり、毎日疲れていました。でも家に帰りたい気持ちは不思議となく、「2週間なんとかやってやる！」という強い気持ちが日々湧き上がってきました。2週間で先生たちから言われることは的をえすぎている、「そこまで考えなくてもいいか」と思っていたことを深く考えないといけな場面が多くありました。お母さんや、おばあちゃん、時々お父さんにしてもらっていたこと（家事、自炊）を1人でやらなければならない時に、時々イライラしたけれど、今ではある程度自分でやるようになりました。

ハワイサマースクール スペシャルチーム

監修	責任者	指導者	通訳	パンフレット
	 	  		
竹田 契一	Jolene Chongchua 鍛治田 千文	Billy Doughty 加藤 義弘	裴 丁葉 (Julie) Rika Smith	津田 郁子
大阪教育大学名誉教授 大阪 YMCA サポートクラス スーパーバイザー	VARIETY SCHOOL of Hawaii Executive Director 大阪 YMCA 発達支援事業部責任者 特別支援教育士	VARIETY SCHOOL of Hawaii Teacher 大阪 YMCA 発達支援事業部主任 言語聴覚士	大阪 YMCA 国際専門学校高等課程 表現・コミュニケーション学科 Interpreter	大阪 YMCA 情報科講師 デザイナー



ハワイサマースクール事務局

2018 年 8 月 発行元：大阪 YMCA 編集：鍛冶田千文・加藤義弘・裴丁葉 デザイン：裴丁葉